

令和8年4月1日

杉並区立こども発達センター（たんぼぼ園） 支援プログラム

事業所番号1351500010

事業所理念	個人の尊厳を最大限に尊重し、利用される子どもの状況や保護者のニーズを踏まえながら、サービスや個別支援を適正かつ平等に実施します。		
支援方針	心身の発達に心配のあるお子さんご家族を援助することを目的としています。お子さんが持っている力を十分に引き出し、運動面・精神面の発達を促し、生活する力が身につくように援助します。		
営業時間	8時30分～17時15分	送迎の有無	あり

5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）の視点を踏まえた総合的な支援を各専門職（保育士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理士・看護師・栄養士）が連携して行います。

プログラム	支援内容（5領域）
登園時	健康生活面に配慮した取り組み ・ 顔色や表情などのお子さんの小さなサインから心身の異変に気づけるよう看護師による視診やご家庭からの連絡帳の情報を合わせて、健康状態を把握します。 ・ バススタッフとグループ担当者が一人ひとりのお子さんの健康状態やバス乗車時の様子を共有し、通所中に体調が変化した場合にも適切に対応します。

手洗い・身支度・衣類の着脱・排泄	健康生活面に配慮した取り組み ・生活に必要な日常生活動作を、一人ひとりに合わせて、スモールステップで進め、身の回りのことをできる限りお子さん自身の力で出来るように支援します。 ・靴を下駄箱にしまう、連絡帳やコップ、エプロン、おしぼりなどを所定の場所に出し入れする、日々の取組みにより自身の持ち物を管理する力を養います。 ・手洗いや着替えを行い、身の回りを清潔に保つことが身に付くように支援します。 ・衣類の着脱は一人ひとりのペースでゆとりを持って取り組めるように配慮します。また、おむつからパンツへの移行、便座に座ることに慣れる、便意尿意を伝える等、発達状況に合わせて排泄の自立に向けて支援します。
自由遊び	認知・行動/運動・感覚/人間関係・社会性を育む取り組み ・ブロック、くるくるチャイム、パズルなどを大人と一緒に楽しみながら、認知面や他者との相互関係を広げていきます。 ・他者と場や物を共有する中で、玩具を一緒に使う、順番で使う、交代して使うなどの人との関わり、やりとりする機会を設定し、人間関係・社会性の発達を育みます。 ・トランポリン、ホーススウィング、ボールプールなどの遊具を使用し、揺れる、跳ぶ、走る、つかむなどの動きを経験し、気持ちの発散や体の動きをコントロールする力を育みます。
あつまり	運動感覚/認知行動/言語コミュニケーション/人間関係・社会性/を育む取り組み ・あいさつ、呼名一返事、出席シール貼り、手遊び、一日のスケジュール確認等を通して、一緒に過ごす友だちや活動内容の理解を促し、安心して活動に取り組めるように支援します。 ・同じ取り組みを繰り返し行う、視覚的にわかりやすく提示することで、目の前のことに興味を持って注目することや、見通しを持つこと、聞く力、言語理解、応じる力などを育てます。 ・貼る、入れる、掛けるなどの動作を取り入れ微細な運動や協調運動、認知能力を伸ばします。 ・指さし、身振り、絵カードを用いてコミュニケーションの支援を行います。

音楽遊び	運動感覚を育む取組み ・ダンスやリズム遊びを通して、他者と一緒に運動感覚を養います。 ・リズムに合わせて楽器を鳴らしたり、音楽に合わせて体を動かす活動で気持ちを発散させたり、自己表出の幅が広がるように取り組みます。
室内プール	人間関係・社会性/運動・感覚を育む取組み ・水の感触や親子間のスキンシップを通じて、対人関係面の支援を行います。また、水の中でバランス感覚や筋力の向上を促します。専門講師による水療育のセッションを行います。
ルールのある遊び	人間関係・社会性を育む取組み ・かくれんぼや鬼ごっこ、むっくりくまさん、しっぽ取りなどのルールのある遊びを行う中で、順番や交代、役割を意識して遊びながら、協調性、社会性の発達を促します。
感触遊び	運動・感覚を育む取組み ・様々な素材（スライム、小麦粉粘土、えのぐ等）に触れることで、五感への直接的な刺激を提供し、受け入れられる感覚の幅を広げたり、手先の動きの向上を目指します。専門講師による造形療法のセッションを行います。
運動遊び	運動・感覚を育む取組み ・サーキット（くぐる、登る、跳ぶ、またぐ等）遊び、ボール遊び、揺れ遊びなどを行い、粗大運動の発達やボディイメージの獲得、身体をコントロールする力を育みます。

戸外あそび	健康生活/運動感覚/認知行動を育む取り組み ・近隣の公園へ散歩に出かけたり、園庭で遊びます。 ・季節に応じて、園庭プール、泥んこ遊び、水遊び、砂場あそびなどを行い、様々な感触に触れる機会を提供します。 ・虫探しや追いかっこ、築山登り、太鼓梯子の上り下り、三輪車、滑り台、シャボン玉など多様な遊具を自分で選んで遊ぶことで、自主性、集中力や身体の動きの広がりを促します。
給食	健康生活を育む取り組み ・口腔機能に適した食形態や姿勢、適切な介助を行い、楽しく食事ができるように支援します。 ・アレルギーや食形態について確認し、お子さんに合わせた給食を提供します。 ・食事に対する抵抗や偏食がある場合は、ご家庭と連携を図りながら、お子さんの状況に合わせて対応します。
個別課題あそび	認知行動/言語コミュニケーションを育む取り組み ・言語聴覚士や心理士が一人ひとりの発達特性に合わせた遊びを行い、認知面やコミュニケーション面の発達を育む時間を設けます。
帰りのあつまり	認知行動/言語コミュニケーションを育む取り組み ・パネルシアターや紙芝居、絵本を通して、絵と言葉、物の名前の関連性を理解し、言葉で表現する力を育てます。また、ストーリーを楽しみながら、集中力や創造力を養います。
家族支援	

・子育てに関する不安や心配事について、具体的な支援方法や環境づくりについての相談・助言を行います。また、きょうだい児についての相談にも対応します。

・保護者同士の交流の機会として、保護者会や見学会、親子通園日の機会を設けます。

・必要に応じて通園終了後に預かり支援を行います。

・家族やきょうだい児が参加できる家族交流会を開催します。

移行支援
・ 所属園や移行先と連携を図り、お子さんのより良い集団生活を支援します。所属園、家庭、当センターそれぞれの場面でのお子さんの状況を共有し、必要な配慮や支援方法を検討する等、お子さんをご家庭を支援します。
地域支援・地域連携
・ 杉並区内の保育園、子供園と定期的に交流の機会を持ちます。 ・ 児童発達支援センターとしての役割 地域の児童発達支援事業所に対する研修、相談支援の実施。区民向け発達支援講座の開催 保育所等訪問支援事業
職員の質の向上
・ 虐待防止、権利擁護、感染症予防対策、防災、防犯、専門知識等に関する研修やOJTを研修計画に基づいて実施します。
主な行事等
・ 自然や季節の移り変わりを感じられるよう活動や教材を取り入れます。（こいのぼり、七夕、夏場の園庭プール、園外療育、センターまつり、就学を祝う会）